平成25年度事務事業評価シート	該当事業（評価対象外事業は基本情報のみ記載）		
	一般事務	公共建設事業	評価対象外事業

事務事業名	伊予市内遺跡発掘調査等事業
予算科目	10 款　5 項　1 目
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとづくり～ 文化の振興
所管課情報	担当課：　社会教育課　電話番号（内線）：　734
記入者情報	所属長：　武智 亨　担当責任者：　武田 秀雄
事業の性格	法定事務
実施期間	【開始年度】 平成　23 年度　【開始年度】設定なし
事業の対象	伊予市内
根拠法令等	文化財保護法
事業の目的	埋蔵文化財包蔵地の範囲等を詳細に把握し、今後の開発行為等に際し適切な指導を行うことで埋蔵文化財が保護されるとともに、市民の埋蔵文化財に対する理解を深め、郷土の歴史についての関心を高めることを目的としている。
事業の内容	埋蔵文化財包蔵地の試掘及び確認調査並びに踏査による範囲等の詳細な把握。遺跡詳細分布調査委員会の開催。伊予市内遺跡詳細分布調査報告書の刊行。
改善策の具体的取り組み（当初）	
改善策の具体的取り組み	

事業費及び財源内訳

項目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	2,596	3,169	1,600	2,964
	人件費	2,799	4,881	2,440	4,881
	合計	0	8,050	4,040	7,845
人件費内訳	人工数	0.35	0.60	0.30	0.60
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	2,799	4,881	2,440	4,881
財源内訳	国庫支出金	1,206	1,475	0	1,220
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	4,189	6,575	4,040	6,625

事業活動の実績（活動指標）

項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
試掘及び確認調査の実施	箇所	4	6	2	3
踏査の実施	箇所	73	50	11	35
遺跡詳細分布調査委員会の開催	回	3	3	1	3
伊予市内遺跡詳細分布調査報告書の刊行	冊	300	300	0	300

向こう5年間の直接事業費の推移

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
	3,200	3,200	3,200	3,200	3,200	16,000

成果指標				
成果指標	試掘及び確認調査並びに踏査の箇所数			
指標設定の考え方	埋蔵文化財包蔵地の範囲等を詳細に把握し、埋蔵文化財包蔵地カードを更新するため、試掘及び確認調査並びに踏査により情報の蓄積が必要であるため			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標27年度
目　標	70	56	30	30
実　績	77	38	0	0

自己評価				
自己評価（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今後も後世に残す貴重な資料を発掘、展示するなど必要である。その中で、どのような資料をどのように展示するなどの方法は協議する必要がある。			

一次評価				
一次評価（所属長）	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	確認調査を継続して行い、開発行為に対し適切な指導を行なう必要がある。また、展示等を通じて市民の歴史に対する関心を高める工夫が必要である。			

二次評価	
二次評価（所属部長）	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	遺跡詳細分布調査の成果を有効活用し、埋蔵文化財の適切な保護に努める必要がある。

行政評価委員会の答申	
外部評価 （行政評価委員会）	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。